

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (28,000 円) 上記は 2026 年 2 月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続諸費用 (パスポートを新規取得、更新の方): パスポート新規申請代 (5 年用 11,000 円 / 10 年用 16,000 円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途) このご旅行には 2026 年 4 月 24 日以後のパスポート有効期限が必要です。(+2 週間以上の有効期限が望ましい)
- ◆お一人部屋追加料金: 39,000 円 (ホテルは基本 2 名一室です)
- ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は 2026 年 2 月 1 日現在を基準としています。

■旅行契約の解除
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の 23 日前迄にお知らせします。
<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

<解除時期・取消料>

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って 30 日前以降	旅行費用の 20%
旅行開始日前々日以降	旅行費用の 50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行費用の 100%

ご旅行要項

■旅行代金に含まれるもの
①企画手配料金および手配料金
②交通費: 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金、乗船費用
③宿泊費: 旅程表に明示したホテル又は同等クラスのホテル (弊社基準) 基本宿泊料および税、サービス料 ※基本 2 名一室
④食事代 (旅程表に明示)
⑤見学施設の入場料
⑥ガイド代
⑦現地協力者の謝礼・同行費用・交流代
⑧添乗員 1 名同行費用

■旅行代金に含まれないもの
①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
②超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
④個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等
⑤航空会社が課す 成田空港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃 (28,000 円) 2026 年 2 月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
⑥海外旅行傷害保険料
⑦日本国内の交通費、前泊の費用
⑧お一人部屋料金 (39,000 円)

旅行企画・実施

観光庁長官登録旅行業第 84 号 JATA 正会員

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで

株式会社 富士国際旅行社

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-7
ヒューリックみなとみらい 11F-4

総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理

TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201

営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00
(休業日: 土日・祝日)

fujikokusaionline@gmail.com 担当: 西須・山田・川村・小島

ホームページ: <http://www.fiis-tyo.com/>

お申込方法

- ①【紙でお申込みの場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送または FAX でお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記 QR コードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金 50,000 円** (旅行代金内金) をご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)
- ④ツアー実施確定後、弊社よりご連絡いたします。
- ⑤出発 2～3 週間前に旅行説明会を行います。(オンラインと会場両方可)

参加予約票 株式会社 富士国際旅行社 宛

日本 AALA 企画 台北・金門島・廈門 第 3 回 平和のための市民交流の旅 2026 年 4 月 19 日(日)発

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日生れ () 才	ウェブ仮予約は こちらから!
氏名	男・女	パスポート	有効旅券 (パスポート) 【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 -)	発着希望空港に✓ <input type="checkbox"/> 羽田・ <input type="checkbox"/> 関西 ※関西空港ご発着の方は別途 ご料金をご案内いたします。		
連絡先	【tel】 () - 【fax】 () - 【携帯】 - 【e-mail】	<input type="checkbox"/> AALA 会員 ・ <input type="checkbox"/> 非会員 ↑✓をおつけください ※どなたでもご参加可能です		

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 日本 AALA 企画

～台北・金門島・廈門から平和をかんがえる～

第3回 平和のための 市民交流の旅

旅行期間

2026年

4月19日(日)～4月23日(木) 5日間

旅行代金

278,000円

※費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・成田空港施設使用料・保安料 28,000 円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。差額は返金・又は集金させていただきます。

定員

25名様 (最低実施人員 15 名)

申込締切

3月19日(木)

添乗員

1名同行します。

※関西空港発着ご希望の場合、航空便に空席があれば可能です。空席・ご料金は旅行社へお問い合わせください。



POINT!

- 01 ● 台北 2 泊・金門島 2 泊でゆったり見学
- 02 ● 台湾平和勢力の方々と交流
- 03 ● 金門島から高速船で中国・廈門を日帰り見学
- 04 ● 台湾民主化発展の現場も見学



※写真は全てイメージです

旅行企画・実施

Peace Green Humanity
(株)富士国際旅行社

〒231-0062
神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-7
ヒューリックみなとみらい 11F-4

日本AALA企画 台北・金門島・厦門 第3回 平和のための市民交流の旅

日付	都市	交通機関	行程・宿泊地・食事(朝・昼・夕)
① 4/19 (日)	羽田または成田発 台北着	航空便 航空便 専用車	<p><羽田または成田発:添乗員1名同行>空路✈台北へ 空港集合時刻:午前7:00~9:00予定 ※1か月前決定 【時差:日本側が1時間進む/所要3時間40分】 ※関西空港発着ご希望の方は旅行社へお問い合わせください。 (関西空港集合時刻:午前8:30~10:30予定)</p> <p><台北市内見学> *台湾総統府(外観) *二二八和平紀念公園(モニュメント) 外観 *二二八国家紀年館(入館) ★夕食レストランにて参加者交流会 ホテル着、チェックイン</p> <p style="text-align: right;">台北泊 朝×昼機夕○</p>
② 4/20 (月)	台北市	専用車	<p>午前:台北市内見学 (済南教会や義光教会など民主化に関連するスポット) 午後:台湾中央研究院欧米研究所研究員の方々と懇談</p> <p style="text-align: right;">台北泊 朝○昼○夕○</p>
③ 4/21 (火)	ホテル発 松山空港発 金門空港着	MRT 航空便 専用車	<p>早朝ホテル発、MRT(台湾の地下鉄)にて松山空港へ移動 空路✈金門島へ(所要1時間20分) <金門島見学> *軍隊慰安婦たちの記念館 *翟山抗道(Zhishan Tunnel) *日軍強徴金門馬殉難紀年碑 *金門島と小金門島を結ぶ金門大橋を通り小金門島へ *湖井頭戦史館(Hujingtou War Museum) *沙溪堡(Shaxi Camp/中国の厦門を遠望) *北山村巷戦紀年誌 *金城民防抗道 *市内街歩き</p> <p style="text-align: right;">金門島泊 朝弁昼○夕○</p>
④ 4/22 (水)	金門島発 厦門(アモイ) 金門島着 ホテル着	高速船 専用車 高速船 専用車	<p>金門島から高速船で中国・厦門へ <厦門(アモイ)見学> *環島路観光(一国二制統一中国) *曾厝文創のチェック *胡裡山砲台観光 *南普陀寺観光 五通埠頭に戻る 夕刻、厦門から再び船で金門島へ</p> <p style="text-align: right;">金門島泊 朝○昼○夕○</p>
⑤ 4/23 (木)	金門空港発 台北松山空港着 台北発 羽田または成田着	航空便 航空便 航空便	<p>空路✈再び台北松山空港へ</p> <p><関西空港へお帰りの方> 台北から空路✈関西空港へ(到着時刻:16:30~21:30頃予定) <羽田または成田空港へお帰りの方> 台北から空路✈羽田または成田空港へ (到着時刻:18:30~21:00頃予定)</p> <p style="text-align: right;">朝○昼○夕機</p>

●手配上・現地のご都合により、訪問日時や順序が入れ替わる場合がございます。金門島への航空便は機材が小さいため、分便になる可能性がございます。●旅程表のマーク:○=食事付き、X=自由食、機=機内食、弁=お弁当 ●利用航空会社:エパー航空、ユニエアー、マンダリン航空 ●宿泊予定ホテル(基本2名1室)下記ホテル又は同等クラスのホテル(弊社基準):台北=第一ホテル、兄弟大飯店、漢普頓酒店または同等クラス 金門島=金門歡樂滿屋民宿、昇恒昌金湖大飯店、你在哪里我在想你模範人家包棟、海福商務飯店または同等クラス

台湾味の魅力

台湾料理とは、台湾で食べられる中華料理のうち、主に福建料理をベースとして、台湾で発展した郷土料理です。「食は台湾にあり」といわれるほど、台湾には美味しいグルメが充実しています。定番は小籠包や魯肉飯(ルーローハン)、台湾スイーツや屋台グルメも観光客に人気です。はじめてでも気軽に入れるお店が多く、日本語メニューを用意しているお店もあります。



金門島

金門島は、西は中国大陸福建省のアモイ市から2km、東は台湾海峡を隔てて台湾島と約200kmの位置にあります。金門島の他に烈嶼(小金門)、大胆、二胆など15の島で金門群島と呼ばれています。そのうち3つの島は中国の直接統治になっており、台湾の金門県は12個の島々で構成され、総面積は約150km²です。亜熱帯気候に属し、年平均気温はおよそ21度。朝晩と日中の気温差が大きいのが特徴です。日中戦争中は日本軍に占領されていました。日本の降伏後、第二次国共内戦が勃発。金門島をめぐる戦闘「古寧頭戦役(こねいとうせんえき)」(1949年)は、戦後の中国と台湾の関係の出発点とも言えるのではないのでしょうか。中華民国政府が台湾へ移って以降は、中華民国軍の軍事的拠点となり、一般観光客による金門島への出入りは厳しく制限されます。島には当時最大約10万の軍隊が駐屯し、住民は軍事施設の建設など、軍隊を支えるために駆り出されました。1987年に台湾戒厳令解除された後、現在は台湾島だけでなく中国本土からも多くの観光客が訪れる島となっています。島には多くの戦争遺跡が残され、歴史を伝えるため広く公開されています。かつての地下坑道、要塞、トーチカ、戦車、大砲などを見ることができ、歴史を学ぶ場として活用されていることが分かります。また、伝統的な古集落も金門島の見どころの一つ。独特な自然風景、台湾島とは一味違う料理をお楽しみいただけます。



旅のポイント・見学先

台北 二二八国家紀念館

終戦後(1947年2月28日)
外省人と本省人の間に起こった事件



第二次世界大戦終了後、台湾が中華民国に接収された後に起こった二二八事件についての記念館。やみタバコを売っていた女性が取締官に殴られ、近所の住民が殺されたことを契機として、国民党政府に対する住民の抗議活動が全国各地に広がりました。この抗争に対して国民党軍は台湾住民の虐殺を開始し、公式には2万8千人もの住民が犠牲になったといわれています。

台湾基督長老教会・済南教会

日本統治時代に建てられた歴史的なプロテスタント教会。1916年に完成したゴシック建築の建物です。2014年のひまわり学生運動の際、教会は周辺で集まる学生や支持者のために祈りの集会を毎晩開催するなど支援的な役割を果たしました。香港の民主化支援デモに対しても、教会が支援や中心的な働きを担った時期がありました。こうした活動から、済南教会は台湾の民主化や人権運動と結びついた象徴的な場所として評価されています。

金門島 湖井頭戦史館

金門島の戦史を記録し陳列する資料館。城郭に似た外観で、広場には高射砲、「五七戦防砲」、機銃等の軍事装備が並んでおり、かつての戦地の雰囲気が残っています。設置されている望遠鏡からは5,000m先の厦門を遠望できます。



中国福建省 厦門(アモイ)市

厦門市は、中国の南東沿海、福建省の東南部、台湾海峡の西岸に位置する港湾都市で、厦門島・コロンス島・大陸九竜江北岸の沿岸部からなります。中国の五大経済特区の一つに指定され、省レベルの经济管理権限と地方立法権を有し、先進工業都市として、また、国際観光都市として発展しています。唐代に創建され、清の康熙帝によって再建された南普陀寺や、清朝光緒20年に築かれた要塞の胡里山砲台など、歴史を感じられるスポットが見どころの一つ。厦門港は自然に恵まれた海峡性天然良好で、古くから東南沿海における対外貿易の重要な港となっています。

